

アクティビティ STEP1-A1 地域社会との関わり・グローバル化について考える ★

本項は、社会課題に関する興味関心が薄い児童・生徒が多い状況を想定した、「WE 教育プログラム導入のヒント」になります。

児童・生徒の状況を鑑みて、実施をご検討ください。

実施時間：45 分

使用教材：アクティビティブック P.7 ガイドブック P.17

準備物：模造紙 1 枚、マジックペン

<活動内容>

自身の生活空間から、地域・世界との繋がりを実感し、社会課題への興味関心を高める。

社会のグローバル化に対し、自分がどのような考え・心構えを持てばよいか考え、気づきを深める。

<目標>

- 自分の身の周りに、どのような組織・人が地域に貢献しているか言語化されている
- グローバル化に対する、個々の考えが明文化されている

<児童・生徒の状態目標>

- 自分の身近で、どのような組織・人が、どのように地域へ貢献しているのか列挙出来ている
- それらが何のために活動しているのか、目的を考え、言語化出来ている
- 地域社会・世界に対する視野が広がっている（考え・認識が深まっている）
- 「グローバル化」に対して自分がどう考えているか言語化・明文化出来ている
- また、それらを共有し、他の人の考えを受け入れることが出来ている
(他の考えを受け入れ、自分の考えを深めたり、相乗効果を創出したり出来ていれば尚良い)
- 前項で定めた、「セーフスペース」を意識・順守出来ている

<授業の流れ>

概要	学習活動	留意点
導入 ワーク 1 思考 5 分 共有 10 分	・今回の学習内容を説明し、自分達の地域社会で活動する人々について考え、意見を共有する。 <声掛けの例> 「今日は、皆さんが自分の住む地域や世界がどの様に繋がっているのか考えます。」 「最初に、自分の住んでいる地域で、どんな組織・団体や人が、どの様に地域関わっているのか考えてみましょう。」	・WE 教育プログラムにおける、地域社会の定義は、「ある一定地域に住む人々から成る社会」「地縁関係に基づく集団が形成する、仕組みや関係性の総体」としている。 例：学校、町内会、自治会等 ・貢献内容の例：義務教育の無償提供、安全確保、環境美化、児童福祉等
ワーク 2 思考 5 分	・ワーク 1 で挙げた団体・組織、人が、何の	・特定のコミュニティに対する批判、偏見等が出た場合、前項のセーフスペース

<p>共有 10 分</p>	<p>ために活動・提供しているのか、目的を考え、私達が「誰のために地域社会を築いているか」「地域社会で何を築いているか」をまとめる。</p> <p><声掛けの例> 「皆さんが挙げてくれた団体・組織、人と、それらの活動は、誰のため・何のために行ったり、提供したりしているのか考え、まとめてみましょう。」</p>	<p>スを意識するよう伝えるようにする。</p>
<p>ワーク 3</p> <p>思考 5 分</p> <p>共有 10 分</p>	<p>・地域社会のグローバル化について触れ、グローバル化が社会で進展している事に対し、どのような心構えを持つか考え、共有する。</p> <p><声掛けの例> 「最後に、私達と世界がどう繋がっているか考えてみましょう。私達の生活の中には、世界中の物が溢れています。例えば、どの家にも外国の食べ物や調味料が食卓にあるはずです。 インターネットを使えば、世界中の情報にアクセスしたり、外国の人と電話をしたり、外国のものを買ったりすることが簡単にできるようになっています。また、私達の地域で生活し、働いている、外国籍の人も増えています。この様に、国境を越えた人・モノ・お金・情報等のやり取りは年々盛んになっています。つまり、世界中の国々・人々がお互い頼り合う関係になっており、グローバル化無しでは生活が成り立たなくなっていると言えます。 こうしてグローバル化が進展することは、私達の今後の生活にどんなことをもたらすでしょうか？ そして、グローバル化が進むことに対して、私達はどのような考えや心構えを持てばよいでしょうか？残りの時間で考えてみましょう。」</p>	